

令和5年度

年度学校評価書

令和6年2月6日(火)



生活科:秋のおもちゃづくり (11月:1年生)



生活科:栗盛図書館見学(11月:2年生)



桜を守るンジャー学習会(12月:3年生)



成寿苑訪問(11月:4年生)



稲刈り体験(10月:5年生)



ひまわり感謝祭スタンプラリー(11月:6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価の 評価区分	きわめて良好	学校評価 Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	おおむね良好	学校報やHP、緊急メール等を活用して学校の様子を発信していることが、保護者にとっては学校生活の把握につながり、一定の評価を得られている。児童数減少に伴って教員数も減り、ひまわり活動を始め各活動に教員の参加が難しくなっている現状を、保護者や地域に発信し、理解と協力を求めるべきである。緊急を要する修繕を学校長判断で行えないのが現状であるが、児童の安全を保障するために何らかの手立てを講じたい。
	年度	良好	前期の課題となっていた修繕に関して、迅速にクリアできている点を評価したい。学校運営に地域の協力を得ながら教育力を活用しており、地域と一体となって活動している様子が顕著に表れている。地域が学校を創っていくという気持ちがあるので、さらに生かしてほしい。

【前期(一年度)】1(2)に関して→老朽化に伴い、トイレ各所でタイルの剥がれ落ち、または浮きがあり危険な状況であった。テープで留めるなどの簡易修繕でしのいできたが、今年度は業者による修繕を行うことができた。昇降口のサッシや錠前の修繕はこれまでも要望を続けてきたが未だ実現できていない。管理上の問題があるため、早急な対応を求めている。昨年度は本郷から2台、今年度は市から4台と、合わせて6台の電子黒板を導入できた。各学年に行き渡り、ICT環境の充実が図られた。2(4)に関して→クラブ活動の講師や学習支援、環境整備など、地域の方々にはたくさん協力をいただいた。今後も継続していくと共に、PTAの協力、活性化も図っていききたい。2(5)に関して→ひまわり活動や学習など、1年生とこども園、保育園の年長児との交流を行ってきた。保育園参観や本校職員による保育体験など、児童や園児だけでなく職員同士の交流も行うことができ、スムーズな幼保小の接続につながっている。

【年度(一次年度)】1(2)に関して→児童昇降口と体育館玄関の修繕を長年要望してきたが、今年度は錠前交換を行うことができ、日中・夜間共に管理上安全性が高まった。次年度も全職員による月一回の安全点検を基に、迅速にまたは計画的に修繕を行っていききたい。また、昨年度から始まった桜の保全活動に関わるクラウドファンディングに対し、たくさんの方々から目標額を遙かに上回る協力をいただくことができた。釈迦内交友会の協力もいただきながら、今後も保全活動を継続していききたい。2(3)に関して→学年・学校便り、ブログでは、行事だけでなく日常の活動の様子も伝えるようにしてきた。SNSやオンラインゲームに関する注意点や、「弁当の日」を通して自立を促す子どもとの関わり方など、親子で学習する機会を設けてきたことで、保護者に対して効果的に情報発信を行うことができた。次年度も親子で学習する機会を増やしていきたい。2(4)に関して→年間を通して、地域や外部講師の方々から様々な学習活動にたくさんの方々の協力をいただいた。講師の専門的知識や技術によって、より一層充実した学習を行うことができた。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	3	4
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内	3	4
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・小・中との連携	・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流 ・授業参観、保育参観、連携研究会の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

[1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること] [2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関すること]



児童昇降口8カ所と体育館玄関2カ所の錠前交換を行ったことにより、防犯上安全性が高まった。今後は体育館通路の天井修繕と児童トイレの油圧扉修理を進められるようになっていきたい。

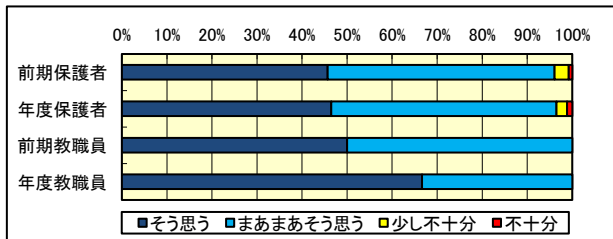


PTA講演会「SNS、オンラインゲームの落とし穴」
講師：櫻庭 直氏

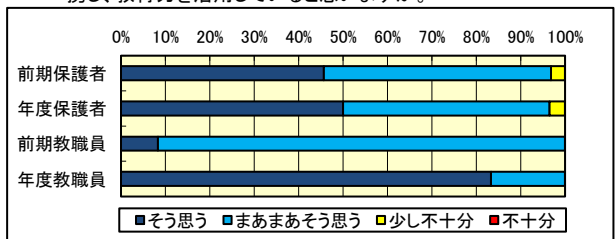


PTA研修会「弁当作りで何が育つか」
講師：竹下和男氏

[2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ]
□ 学校報、学年だより、学校ブログなどは学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていると思いますか。
■ 家庭へ定期的・効果的な情報発信を行っていますか。



[2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]
□ 学校は、PTA活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思いますか。
■ PTA活動や行事、各教科等で、保護者や地域、関係諸団体と連携し、教育力を活用していると思いますか。



関係諸団体との連携強化と教育力の活用



5・6年家庭「ミシン学習」
地域ボランティア



4年総合「福祉体験学習」
社会福祉協議会



5年体育「バスケットクリニック」
ハビネッツアカデミーコーチ



桜剪定作業
釈迦内交友会・樹木医

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

II 特色ある学校づくり

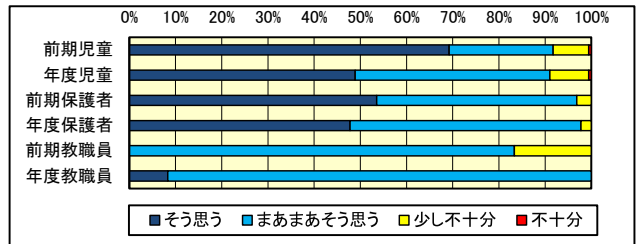
児童生徒の状況		学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ひまわり活動の存在が大きいために、児童にどこまで求めるべきなのかは教員の中でも悩むところではあると思うが、昨年度よりも主体的な活動に結び付けたことで、教育効果が高まっている。また、異学年・地域交流効果も絶大である。今後も職員、地域の方との共通理解のもと、前向きに挑戦しようとする子の育成に努めて欲しい。計画の見直しも大切だが、職員の異動も考慮して活動が継続していくよう確実に引継ぎを行って欲しい。
	年度	おおむね良好	良好	他県や海外など、交流を通して特色のある取組が見られる。コミュニケーション力の向上は、交流の多い学校ならではの強み。きりたんぽ会など、行事の中で自主的に活動する児童の姿が見られる。企画や運営など、積極的に動き、自分たちでやったという自主性が育っている。幼保小の取組が成果を上げており、1年生の成長が著しい。
学校評価の概要と学校の改善策	【前期(→年度)】3(6)に関して一昨年度作成した、「ひまわり活動の年間計画」と「ふるさとキャリア教育年間指導計画」を活用し今年度の活動を進めてきた。「ふるさとキャリア教育年間指導計画」については、前半の振り返りと後半へ向けての計画の見直しを行った。今後は、感謝祭や販売活動など他者との関わりを通して一人一人の良さを積極的に認め、児童の活躍の場を広げられるよう活動を進めていく予定である。			
	3(7)(8)に関して「ひまわりで釈迦内にパワーを！」という目標に向かって、前半も児童の思いを生かして様々な活動に取り組んだ。秋田大学の皆さんと一緒に種植えをしたり、その後秋田大学へ出かけ向こうでも種植えをしたりした。また、8月上旬に「ひまわりウィーク」を設け、ひまわり畑にフォトスポット用の顔出し看板を作り、立ち寄った人たちに楽しんでもらった。地域の方や異学年との交流を通して、助け合ったり、感謝の気持ちをもったりする姿が見られる。2学期に予定されているひまわり感謝祭を通して、感謝の気持ちを伝える機会を設けるとともに、各学年の活動を頑張った良かったと思えるような充実感をもたせ、前向きに挑戦しようとする子の育成につなげたい。			
【年度(→次年度)】3(6)に関して「ふるさとキャリア教育年間指導計画」については、後半へ向けての計画の見直しを生かした取り組みを行った。感謝祭や販売活動などでそれが生かされてきた。また、「釈迦内小学校区架け橋プログラム全体計画」を就学前施設の職員と作成すると共に、積極的に1年生児童と就学前施設の子どもたちとの交流を行うことができた。めざす子ども像へ向けて、今後も足並みをそろえた取り組みを継続したい。3(7)(8)に関して「ひまわりとともにときめく未来をつくりだせWe are 釈迦内」という目標に向かって、後半も児童の思いを生かして活動に取り組んだ。販売活動では、低学年も参加し、高学年と共に笑顔で販売に取り組んだ。感謝集会では、6年生が計画した「スタンプラリー」へ向けて、それぞれの学年で工夫を凝らしたゲーム等を考え実行した。また、集会後にたんぽ会を行った。今年は、縦割り班で準備から役割を分担しながら実施することができた。感謝集会・きりたんぽ会とも地域の方や、秋田大学ウクライナ留学生を招待し、児童もスタンプラリーや会食を通して交流を楽しんだ。更に、販売活動では、渋谷区の児童、学区の就学前施設の子どもたちも参加した。その他にも、横浜市立六浦小学校に種やひまわり油を送るなど交流の幅を広げることができた。今後も、積極的に地域とかかわり、自ら課題を解決しようとする子の育成に努めたい。				

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 ふるさとつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント	3	3
	(7) なりたい自分をイメージできる活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)	3	3
	(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		

○児童 □保護者 ■教職員

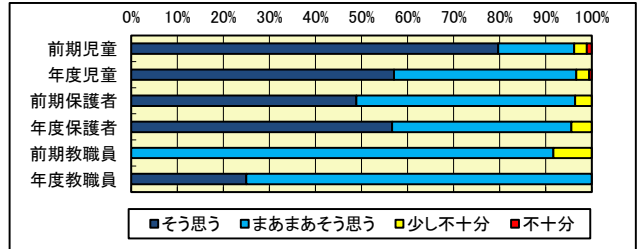
[3(6)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

- ひまわり活動を通して、友達や地域の人、周りの人々の良さを見つけることができましたか。
- 学校は、児童の発想や願い、問いを生かして、児童主体のひまわり活動を行うことができていると思いますか。
- 付けたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。



[3(7)(8)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

- ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。
- 学校は、異学年や保護者、地域の方々と交流を通して、児童に自分を成長させようという気持ちや、協力してくれる方々への感謝の気持ちを育むことができていると思いますか。
- 児童の発想や願い、問いを生かして、ひまわり活動や、生活科・総合的な学習の時間に位置付けた各学年の活動を行うことができていると思いますか。また、異学年・地域の人・保護者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげることができていると思いますか。



販売活動(きりたんぽ祭り)



感謝集会



たんぽ会

幼保小交流(架け橋プログラム)



園児と1年生「たのしいあきまつり」

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 日別の 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	昨年、児童総会や代表委員会の中で、子どもたちが自分たちの課題について解決策を話し合った経験が、確実に成果として表れている。一方で活動や目標が盛りだくさんなために、こなすだけで精一杯の声もあり、焦点を絞って取り組むことも必要かと思う。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	あいさつ、反応がよく、地域では元気をもらっている。登校時は安全な歩行ができているが、下校時は開放感から気も緩みがちになるのではないだろうか。安全意識を高める工夫に期待したい。「なりたい自分」もイメージが児童には難しいのかもしれない。もう少し具体的な姿として児童に下ろしてもよいのではないだろうか。
学校評価の概要と善策	【前期(→年度)】4(9)について→「さくらんジャーの合い言葉」を設定し、2年目となる。児童にも合い言葉が定着してきており、昨年度よりも、「とてもよい」という回答が児童、保護者ともに増えた。今後も、日常の指導を大切にしながら、さらに基本的な生活習慣の定着を図りたい。また、低学年で言葉遣いがよくないという声が聞こえてきているので、言葉遣いに関する指導に力を入れていきたい。4(10)4(12)について→友達のをよさを伝えるカード(B・Bカード)を1学期は2回実施し、全校に放送で紹介した。児童もだんだんとカードを書くことに慣れ、「もっと書きたい」「放送が楽しみ」という児童が増えてきた。今後は、異学年や地域の方など、視野を広げてありがたい気持ちを伝えられるようにしていきたい。4(11)について→今年度は、全校朝会を毎月実施しており、各委員会から全校に向けて話す機会を設けるようにしたり、司会進行を代表委員会で行ったりしている。1学期は、図書委員会から読書強調月間のお知らせや環境・ボランティア委員会からアルミ缶・ペットボトル回収強調週間の協力や実施報告などの情報発信を行った。今後も、他の委員会などから情報発信を行い、特別活動の充実を目指していく。			
	【年度(→次年度)】4(9)について→低学年の言葉遣いについて、学級での指導だけではなく、なかよし(児童館)の職員の方とも情報交換をしながら指導を行い、少しずつ改善されている。今後も学級指導や地域との連携を図りながら、指導を継続していく。4(11)→各委員会の活動が活発になってきている。2学期は、放送委員会の「先生インタビュー」や健康委員会の「シェアハピの呼びかけ」など、児童自ら企画を考えたり、準備したりしたものを全校朝会や屋の放送などを通して情報発信を行っており、自発的な活動が増えてきている。今後も、各委員会の取組が活発になるように取り組んでいきたい。5(13)交通安全について、今年度は保護者の方にも協力していただき、朝の登校指導を行ってきた。登校時の交通安全のルールは比較的守っているようだが、下校時の横断歩道の渡り方のルールが特に守られていない様子が見られた。地域の方からも、下校時の様子が気になるという声が聞こえてきており、3学期から生活指導部で下校指導を行い、ルールをしっかりと守れるように見届けを行う予定である。次年度も継続して下校指導を行い、交通安全のルールを守れるようにしていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価日	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導	3	3
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動 自他のよさを見付ける活動	・あいさつ運動の工夫(上学年を見本としたベア学年でのあいさつ運動) ・にっごりの日(毎月25日)の友達のよいところを見付けたり、ありがたい気持ちを伝えたりする活動の奨励		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、全校朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的な活動の助長 ・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・日常的教育相談活動の設定 ・問題行動などの早期解決 ・一日一声一触の実施	4	3
	(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日・交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

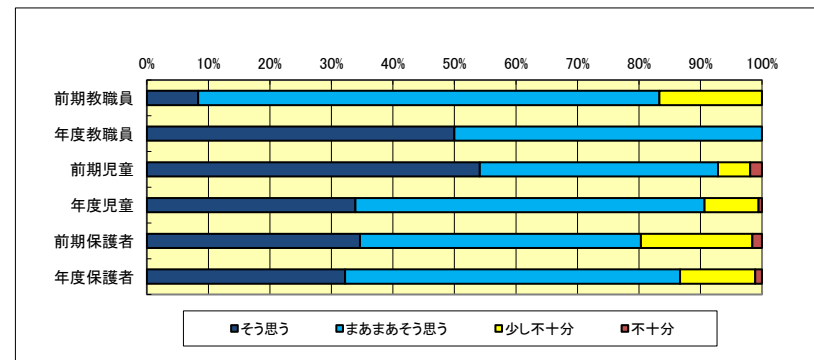
[4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり に関するデータ]

(9)(10)「釈迦内小のやくそく」

○「さくらんジャーの合い言葉」を意識して、校内のルールやマナーを守ることができましたか。

□ 子どもたちに学校生活や交通安全についての指導を徹底していますが、元気なあいさつや返事、ルールを守ろうとする気持ちが身に付いていると思

■ 「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできていると思いませんか。



【健康委員会から学級への呼びかけ】

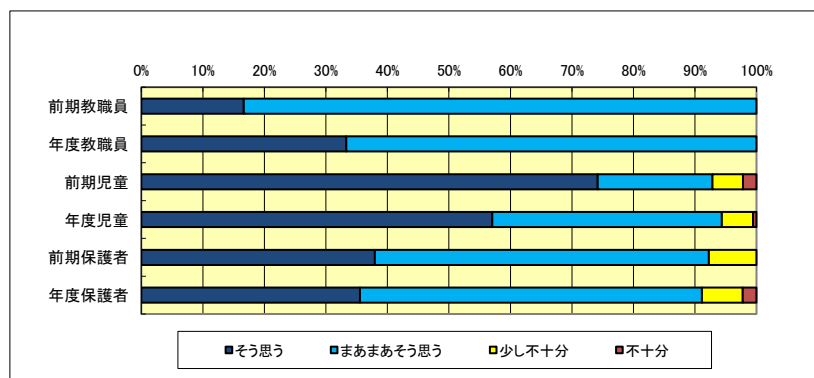


[5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ]

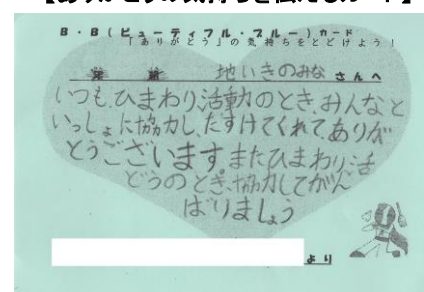
○「B・Bカード」を通して、自分や友だちのよいところを見付けたり、周りの人たちに「ありがとう」の気持ちを伝えたりすることができましたか。

□ 友達の優しさやよさ、がんばりを放送で紹介したり、カードで伝えたりしていますが、子どもたちには思いやりの気持ちが育てられていると思いませんか。

■ 教育相談の設定や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできていると思いませんか。



【ありがとうの気持ちを伝えるカード】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

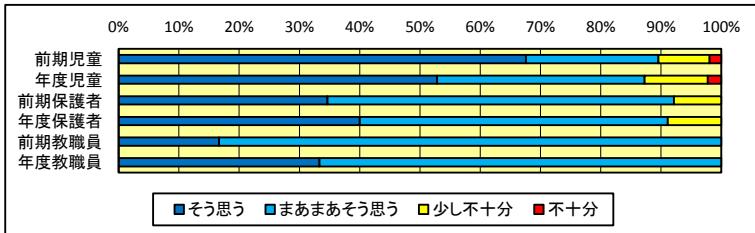
児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	おおむね良好	酷暑の中の活動でも熱中症にならない体力と気力が備わっている。子どもたちから歌詞を集め、歯磨きの意識向上につなげる取組が素晴らしい。マラソン運動や体育行事において、学校長を先頭に子どもたちのやる気を引き出す作戦が素晴らしい。
	年度	おおむね良好	健康的な生活や体力の向上などに関する課題は、学校だけで解決するのは如何ともし難い。現状や課題などの情報を効果的に発信し、家庭との連携を図ってほしい。体力向上に向け、様々な取組の工夫が見られるが、併せて外遊びや体育館遊びなどもどんどん奨励し、体を動かす機会を増やしてほしい。
学校の改善評価の概要と学校	【前期(→年度)】6(14)(15)について→前期は虫歯予防に重点的に取り組んだ。全校児童の協力を得ながらオリジナルの虫歯予防ソングを作成し、そのCDを歯磨きタイムで流すことで、丁寧な歯磨きをする児童が増えた。後期は大館市一斉のメディアコントロール週間がある。メディア依存度を調査したり、各家庭でルールを決めたりしながら、メディアコントロールを実施していきたい。7(16)(17)について→マラソンががんばりカードの活用に加え、子どもたちに馴染みのある音楽を流すようにした結果、子どもたちの自主的に体力作りに取り組もうとする意識が高まった。また、個人目標を立てるだけでなく、学級で目標を立てて取り組むクラスもあり、集団力を高めるという観点からもよい取り組みになった。後期はなわとび運動の実施によって、さらに児童に対する意識を高め、体力向上を図りたい。		
	【年度(一次年度)】6(14)(15)について→後期は、清掃活動に意欲をもって取り組めるようにするために、班長・副班長に班の中で特に頑張った児童を選んでもらい、紹介するようにした。選ばれた児童が廊下に掲示することで、頑張ろうとする気持ちを持続させることにつながった。また、秋から冬にかけて掃除の時間はもちろん、中休みの換気を徹底したことで、感染症の拡大を防ぐことができた。7(16)(17)について→なわとびタイムでは、カードを活用したことで様々な技にチャレンジしようとする主体的な姿が見られた。また、学年ベスト5やカードの目標を達成した児童を表彰したり、放送で紹介したりした。事前にこのことを予告したことで、活動への意欲が高めることができた。新体カテストの結果をもとに各学年の傾向を分析、克服する機会がなかったため、来年度は各学年の重点を設定し、体育の学習で活かせるようにしたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など) 清掃指導	3	3
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施データ分析と各学年の重点強化	3	3
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

○児童 □保護者 ■教職員

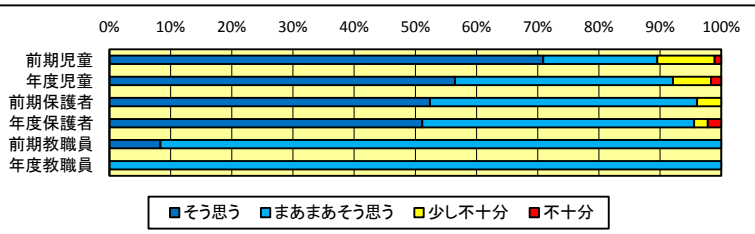
[6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ]

○歯みがき、手洗い、ハンカチの持ち歩きに気を付けて生活できましたか。
給食をすききらいせずに食べようとする事ができましたか。
□■学校は、栄養教諭による食育指導や養護教諭による手洗い指導、児童委員会によるハンカチ持ち歩きへの取組などを実施していますが、子どもたちは、健康的な生活習慣が身につけてきていると思いますか。



[7(16)(17)体づくりに関するデータ]

○マラソンや外遊びなど進んで体づくりをすることができましたか。
□■学校は、体力向上のためにマラソンやなわとびタイム実施、外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは、進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



チャレンジ 釈迦内 なわとびカード

※ じんのひょう
① とびの場にあるそれぞれの数を れんぞくで とれば、クリアです。
② 順1列が全部ぬれたら、その順はクリアです。

できたところまで すきな色を あっけいこう!!

出典: 3/14 体育用図鑑編集部 © http://www2.edu.kanagawa.jp/

栄養教諭による食育指導



なわとびタイム

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協働的に学び合う学び合う授業づくりを行っている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	婦人会の協力を得て図書室の環境整備ができた。本に触れ合う環境が整ったので、効果を期待したい。また、学年毎の学習の手引きの作成に、教員の努力が見える。管理職が家庭学習ノートを見て励ましの声を掛けるなど、学校全体で児童と向き合う姿勢が素晴らしいと思う。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	学力の定着に関しても、家庭との連携が大きなウエイトを占めているので、情報の発信や共有を行ってほしい。授業中の児童の様子から、みんなで学習を行おうという雰囲気を感じる。挨拶や反応など、学習の仕方や学習習慣も身に付けており、学校としての取組を評価したい。

改善策 【前期(→年度)】8(18)に関して→学年毎に「家庭学習の手引き」を作成して、学年に応じた内容の指導をし、PTAIに合わせたノート展を実施して家庭への啓発を図っている。今年度は、校長先生や教頭先生が家庭学習ノートを見て励ましの声かけをしており、児童は担任以外の先生からも褒められる機会が増え、家庭学習への意欲や継続にもつながっている。8(19)に関して→朝・昼2回の読書タイムでじっくりと本に向き合う児童が増え、6月の読書強調月間では、目標冊数やページ数を達成できた児童が多かった。夏休みには、婦人会の協力を得て、古い本を廃棄するなど整備をした。図書室内でじっくりと本を読める場所を設けたり少しずつ新刊図書を購入したりして、利用しやすい環境を整えていきたい。9(20)に関して→授業の中で、どんな力を身に付けさせたいかを明確にし、個の時間やグループ活動を設定することで、自信をもって学習に向かう様子が見られてきている。学力向上の面では、日々の授業の中で、習熟の時間を確保しながら、学習内容の確実な定着を図っていけるように、授業構成も工夫していきたい。

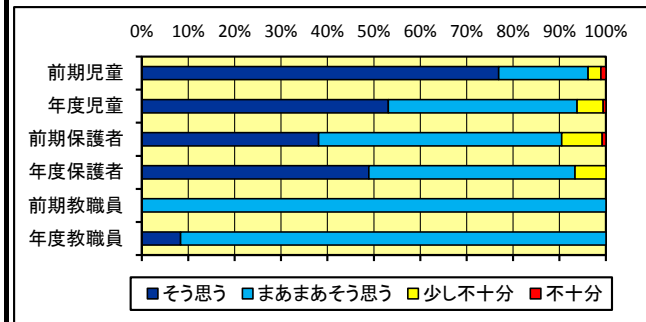
【年度(→次年度)】8(18)に関して→定期的に「学習のやくそく」を確認し、学習習慣の徹底を図った。特に、反応する・はりのある声や返事については、授業だけでなく、他の場面でもくり返し指導したことで、授業中の発言意欲や態度の向上にもつながった。8(19)に関して→12月の読書強調週間や週末読書の呼びかけを通して、読書に親しむ様子が見られた。蔵書管理システム構築のため、図書台帳の入力作業を新しく進めており、今後蔵書を増やして環境を整えていきたい。9(20)に関して→前期に比べ児童アンケートの結果がよくなっており、学級の実態に応じた学習形態を工夫した授業づくりや体験的な学習に取り組んだことで、児童の学びに対する満足感につながったと考える。9(21)に関して→県学習状況調査やCRT検査に向けたパワーアップを行い、基礎学力の向上に取り組んだ。検査結果を受け、苦手とする内容には共通する傾向が見られたため、定着が十分でない内容の回復指導を確実にし、今年度中に定着できる内容を増やして次年度に生かしたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介	3	3
	(19) 読書活動の充実	・図書の活用 ・週末読書 ・読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、探究の場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実	3	3
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導		

【8(18)学習習慣の形成のデータ】

基本的学習習慣の形成

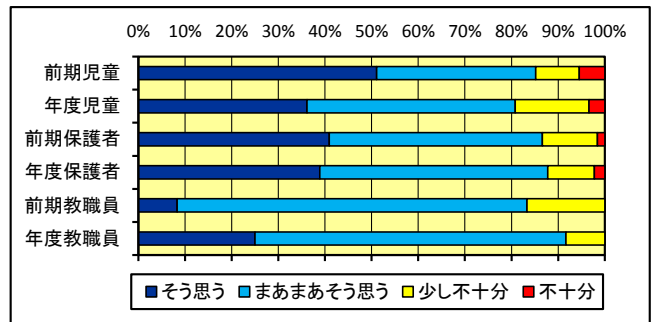
○家庭学習(一人勉強・宿題)を続けて学習することができましたか。
 ■学校は、ノート展の実施や「家庭学習の手引き」を活用し、学力の仕方を指導していますが、子どもたちは、学習する習慣が身に付いていると思いますか。



【8(19)読書活動の充実のデータ】

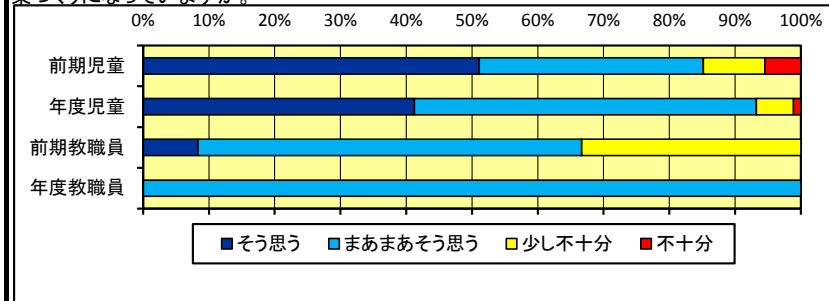
読書の奨励

○図書館を利用したり、進んで読書をしたりとすることができましたか。
 ■学校は、読書を奨励するため、朝や昼の読書タイムや月一回のおうちで読書、読み聞かせボランティアの活用などの取組をしています。子どもたちの読書への関心は高まってきていると思いますか。



【9(20)確かな学力に関わることのデータ】

○自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、学び合うことができましたか。
 ■研究部や学習部の計画のもと、日々の授業や研究授業で学び合い、生き生きと表現する授業づくりになっていますか。



【タブレットを活用した授業の様子(5年生)】

令和5年度 学校評価一覧		大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)					自己評価B (前期)	自己評価B (年度)		
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成		重点 なりたい自分に向かって 前向きに挑戦する子ども 2023 合言葉「元氣なあいさつ」								
人間 的 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成	評価項目	自己評価A (上段:前期) (下段:年度)	学校関係者評価 (上段:前期) (下段:年度)	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B (前期)	自己評価B (年度)		
	I	学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね良好	おおむね良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営 (2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催 ・学年・学級会計事務の効率化・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修	3	4
良好				良好	2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施 (4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用 (5) 幼・保・小・中との連携	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内 ・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流 ・授業参観、保育参観、連携研究会の実施	3		
特色ある学校づくり (教務・ひまわりPT)		ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	おおむね良好	おおむね良好	3 ふるさととつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施 (7) なりたい自分をイメージできる活動	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)		3	3
			おおむね良好	良好		(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト			
III		児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり	(9) 「意識化一見取り一称揚一定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり (10) 美しい心を育むあいさつ運動・自他のよさを見付ける活動	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導 ・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン) ・にっごりの日(毎月25日)によるありがとう貯金、いいとこみつけ活動の奨励	3	3
				おおむね良好	おおむね良好		(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的活動の助長 ・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
				5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	おおむね良好	おおむね良好	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営 (13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・先生と話しあう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常的教育相談活動 ・一日一声一触れの実施 ・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施	4	3
							6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化 (15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚		
IV		健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育指導部)	より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	おおむね良好	おおむね良好	7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	3	3
				おおむね良好	おおむね良好		8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実		
V	自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	子どもたちが共感的・協働的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね良好	おおむね良好	9 確かな学力	(20) 主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・身に付けたい力を明確にした授業構想・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム)・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実 ・短作文コーナー等の設置 ・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・各種検査の分析と回復指導	3	3	